

平成30年度事業計画

<要 旨>

公益社団法人移行後、収益のマイナスが続いていたことからこれを打開すべく、当該年度は「運動グッズ」や6月末に河出書房新社から発行される「はがきキャンペーン作品を収録した単行本」の販売を通じて、収益事業のプラスを図る。

さらに、2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックにおける「小さな親切」運動の活動を具体化し、地域組織を中心に全国運動で盛り上げる。

これを踏まえ、当該年度は次の「運動方針」と「重点活動」を策定した。

1. 平成30年度運動方針

日本の美風の「蘇生」と「新生」

当該年度も継続して日本の美風の「蘇生」と「新生」に取り組む。

2. 平成30年度重点活動

作文コンクール、はがきキャンペーン応募者の拡大を図ることを通じて運動の啓発を図り、その意義を浸透させる。

【公益目的事業1】

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

- 29年度に引き続き、実行章受章者にアンケートを行い、受章者の傾向や受章後の変化などを調査すると共に、運動への接点を作り協力者になってもらうよう働きかける。
- バッジ製作費の値上がりを受け、平成30年4月1日より実行章バッジの販売価格を大人用・子ども用ともに1個15円値上げし、150円とする。
- 実行章子ども用バッジ（チイエンジェル、ビックリオネ）のキャラクター使用期限が今年度末までとなっていることから、デザイン等を早急に検討し、平成31年4月からの導入を進める。

[要 項]

推薦方法	専用フォーム、はがき、封書、FAX、メール等いずれも可 ※エクセルの推薦フォーマット有 親切実行者：個人／氏名、住所、年齢（職業）、実行内容 団体／代表者氏名、住所、人数、実行内容 推 薦 者：氏名、住所、電話番号
推薦締め切り	毎月25日。土日の場合は翌週月曜日
受章決定	実行章選考委員会
受章発表	推薦締切日の翌月25日 実行章（賞状）は、翌月20日頃までに推薦者の希望先へ送付

	※早送りを希望する場合は、担当者に事前に連絡
受章者名発表	WEB サイト (http://www.kindness.jp/)
賞状の種類	1) 個人実行章 幼児～中学生 …子ども用賞状 高校生以上 …大人用賞状
	2) 団体実行章 … 団体用賞状
実行章バッジの販売	1 個 150 円 (税込・送料別)

2. 第43回「小さな親切」作文コンクール

- 例年テーマを“「小さな親切」～私のした、うけた、みた、できなかった親切～”としていたが、当該年度よりテーマを「小さな親切」のみとし、より自由な発想の作文を募る。ただし、地域組織の開催する作文コンクールでは、従来通りのテーマの設定及び、テーマ「小さな親切」に加え、独自のキャッチコピーの使用は可とする。
- 昨年度に引き続き、作文コンクールの応募作文の中から、親切を実行した内容の作文を書いた児童生徒に、実行章を贈呈。来年度以降も継続して実施する。
- 昨年度、問題が発生した同一テーマの作文の重複応募、上位入賞者の氏名発表拒否をふまえ、応募要項に注意項目を追加。
 - ・ 他のコンクールに応募した作品が、本コンクールに応募した作品と同一テーマで、内容が酷似している場合は重複応募とみなし、入賞・入選を取り消すことがある。
 - ・ 本人や家族が学校名、氏名の発表を拒否する場合は、受賞を辞退いただくことがある。

[要 項]

後 援	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社
協 賛	カシオ計算機株式会社 株式会社サクラクレパス
テ ー マ	「小さな親切」
対 象	小学生・中学生 (小中学生と同じ学齢のものを含む)
応 募 方 法	1) 400 字詰め原稿用紙 3 枚 (1,200 字) 以内。題名・氏名 (ふりがな)・学年・性別・学校名・学校住所を明記。なお、地域組織・学校でまとめて応募する場合は、応募添付書に学校名・学校住所を記入するのみで可。 2) 地域組織・学校でまとめて応募する場合は、必ず選考した上で、上位作品 (コンクール開催地域は賞名を明記) を中央本部へ郵送。
締 め 切 り	平成 30 年 9 月 21 日 (金) 必着
要 項・入賞発表	毎日新聞・教育新聞・情報誌『小さな親切』・WEB サイト等
審 査 会	平成 30 年 10 月 24 日 (水) 予定 ※審査手順：第 1 次審査、第 2 次審査、作文審査員審査会
賞	入賞・入選者 130 名 内閣総理大臣賞 1 名 文部科学大臣賞 1 名 「小さな親切」運動本部賞 2 名 (小・中各 1 名) 特別優秀賞 6 名 (小・中各 3 名) 優秀賞 20 名 (小・中各 10 名) 入 選 100 名 (小・中各 50 名)
副 賞	メダル、デジタルカメラ、電波時計、文房具等
表 彰 式	平成 30 年 11 月 24 日 (土) 全国表彰式席上

[作製物]

ポスター	4,700 部	……3-9 頁参照
応募要項	8,000 部	

3. 青少年すこやか育成事業 <(公財)JKA 補助事業>

- 昨年度実施したヒアリング調査を基に、運動本部オリジナル幼児教育プログラムの試作品を作成。幼稚園等現場の声を聞き、改良を加え完成を目指す。
- 当事業の主軸を幼児教育におくことから、紙芝居を用いた授業の実施数を減らす。
- “被災地、”被災地外の地域、との区別をなくし、青少年の豊かな心づくりを目指して事業を展開する。

[要 項]

1) 小学校向けプログラム

①紙芝居『まつりのひ』を用いた紙芝居授業の実施

講師：馬場喜久雄（全国小学校道徳教育研究会顧問）

宮島盛隆（白百合女子大学講師）

②工作ワークショップ

講師：有賀忍（板絵画家）

③声優による紙芝居上演

演者未定

2) 幼児教育プログラム及びツールの試作品作成

3) 専用 WEB サイトを活用した教育活動

4. みんなつながる、トモダチ作戦

- あいさつ運動推進グッズ（たすき・のぼり・ポスター・活動事例集）を無料で提供。
- これまで活動グッズは中央本部で送料を負担していたが、活動グッズ希望者が増加したことから、WEB サイトや情報誌等を通じて申し込みがあったものは送料を負担してもらう。なお、地域組織を通じての申し込みは、これまで通り。
- ユニークな取り組みや成果をあげている団体（学校や企業、地域団体）を、情報誌や WEB サイトで紹介する。

[要 項]

あいさつ推進グッズ

……3-9 頁参照

たすき・のぼり・ポスター・活動事例集を無料提供。

※1団体につき、のぼり3枚・たすき10枚・ポスター2種各4枚・活動事例集1冊
配布予定数 200団体

5. ことばの魔法プロジェクト

1) 第34回「小さな親切」はがきキャンペーン

- 上位賞の内訳を変更する。

変更① 最上位賞は、後援企業の日本郵便ではなく、主催者である運動本部が贈呈する。
名称は「大賞」に変更。

変更② 「日本郵便賞」を新設する。

変更③ これまでにハートフル賞（入賞・入選経験者の作品）、審査員特別賞（話題性、ユニークな作品等）を贈呈してきたが、「審査員特別賞」に一本化する。

[要 項]

後 援 日本郵便株式会社 読売新聞社

協 賛 株式会社河出書房新社

テ ー マ 1) 心から伝えたいありがとう

2) 「やだな！」自分だったら…

対 象	子どもから大人まで
応募方法	はがき及び専用フォーム、メールで応募（600字以内） ※タイトル・住所・氏名・年齢・職業（学校名）・TELを明記
賞	入賞・入選者 25名 大 賞 1名 日本郵便賞 1名 読売新聞社賞 1名 河出書房新社賞 1名 審査員特別賞 1名 入 選 20名
副 賞	上位賞：切手帳・図書カード・高級文具 入 選：図書カード・書籍・文具
要項発表 締め切り 審査会	読売新聞、公募ガイド、情報誌『小さな親切』、WEBサイト等 平成30年9月7日（金）当日消印有効 平成30年10月3日（水）予定 審査員：5名（日本郵便株式会社ほか）
入賞発表 表彰式	情報誌『小さな親切』、WEBサイト 平成30年11月24日（土）全国表彰式席上

[作製物]

応募要項 約11,000部 ……3-9頁参照

6. 平成30年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 全国から参加する作文コンクール・はがきキャンペーンの入賞・入選者の多くは運動を知らないことから、単なる表彰式ではなく、参加者が「小さな親切」を知り、その重要性を体験できる式典とするために、もう一工夫を加えたい。

[要 項]

後 援	内閣府 文部科学省 NHK
日 時	平成30年11月24日（土） 12:30～15:30
会 場	東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館
参加者	約300名
プログラム	（司会：NHKアナウンサー）
〈第1部〉	
表 彰	内閣官房長官賞 「小さな親切」運動大賞 「小さな親切」運動賞（団体の部・個人の部） 「小さな親切」実行章 第34回はがきキャンペーン 第43回作文コンクール
作文朗読	作文コンクール大臣賞作品
〈第2部〉	
賛助出演	（有）ケッケコーポレーションの声優さん（予定）

[表彰者の推薦と決定]

賞	・内閣官房長官賞 5名予定 ・「小さな親切」運動大賞 1団体 ・「小さな親切」運動賞（2種類／団体の部・個人の部） 5名予定
---	--

依頼方法	4月、事務局通信No.1にて道府県本部・市町村支部に推薦を依頼
締め切り	平成30年8月17日(金)
表彰決定	平成30年9月7日(金) 第37回理事会
	※内閣官房長官賞は内閣への推薦候補者の決定で、本決定は内閣府より10月中旬頃を予定

7. 『小さな親切』誌の刊行 < (一財) 日本宝くじ協会助成事業 >

- 情報誌として多角的な視点から、現代における「小さな親切」の在り方を発信するべく、情報収集を行う。また、地域組織の活動を積極的に紹介し、組織の活性化につなげる。
- 写真やイラストを募集したり、プレゼントコーナーを設ける等、読者が参加できる新たな企画を増やし、内容の充実を図る。

[季刊発行]

年4回(春号5月・夏号8月・秋号11月・新春号1月)

[発行部数]

1回あたり約33,000部 年間延べ132,000部

8. 地域の輪・和・環プロジェクト(車椅子寄贈運動)

- 中央本部からの車椅子寄贈は昨年度で終了し、当該年度からは地域組織が自主的に行う車椅子寄贈活動のサポートのみを実施。これに伴い、公益認定等委員会に事業名及び事業内容の一部変更の手続きを行う。
- 車椅子発注先を、信頼性が高く、安価に車椅子を購入できるピジョンタヒラ株式会社の代理店「A2Z(エイトゥゼット・東京都文京区)」に変更する。

[要 項]

アンケート	車椅子購入希望数、寄贈先、プレート数を地域組織にアンケート。 回答締切日は平成30年6月22日(金)
発注	購入台数を集計し、7月初旬に中央本部からA2Zに発注。
発送	10月1日(月)～20日(土)の期間に、A2Zより指定の寄贈先に発送。
請求	中央本部より11月頃、地域組織に請求。

9. 日本列島クリーン大作戦(36回目)

- 日本たばこ産業(株)より提示された予算(昨年比50万円減)内で、地域組織からの希望数を加味してごみ袋の種類と数量を確定、4月中に発送。
- 後援省庁及びごみ袋を提供いただいているJTへの終了報告に必要なことから、活動報告の提出を当該年度より義務付けた。

[要 項]

後援	内閣府、文部科学省、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁
協賛	日本たばこ産業株式会社、コカ・コーラ協会、(公社)食品容器環境美化協会、スチール缶リサイクル協会、(公財)日本環境協会、日本石鹼洗剤工業会
スローガン	美しい日本、美しい心
期間	平成30年4月1日(日)～平成31年2月28日(木)
ごみ袋	156,200部/内訳:可燃用300 43,000部・不燃用300 43,000部・手提120 70,200部 <ごみ袋協力:日本たばこ産業株式会社>

[作製物]

ポスター 1,400部

……3-9 頁参照

10. 日本列島コスモス作戦 (30回目) <協力:タキイ種苗(株)>

- タキイ種苗より提案いただいた5品種について地域組織にアンケートを行った結果、ミニヒマワリの希望が多かったことから、当該年度よりコスモスにくわえて、ミニヒマワリの種子袋及び種子の斡旋を実施する。
- ミニヒマワリが加わったことから、新たにミニヒマワリ用の種子袋を作成。さらに、従来のコスモス種子袋の文言を一部変更。……3-9 頁参照

[要 項]

アンケート コスモス・ミニヒマワリ種子袋及び種子の購入希望数を地域組織にアンケート。

回答締切日は、平成30年1月29日(月)

(購入希望数、種子袋の余白印刷申込共)

発 注 購入希望数を集計し、中央本部よりタキイ種苗(株)に発注。

①コスモス 種子袋:37,665袋 種子:1dℓ 139袋 10 34袋

②ミニヒマワリ 種子袋:72,035袋 種子:1kg 1袋

価 格

①コスモス 種子袋 1袋 12.0円(税込)

種 子 1ℓ 5,346円 / 1dℓ 540円(税込)

②ミニヒマワリ 種子袋 1袋 12.0円(税込)

種 子 1kg 6,500円(税込)

発 送 タキイ種苗(株)より、証票を同封し4月13日迄に発送。

請 求 中央本部から5月7日請求。同月末日までに入金。

11. 使用済み切手等寄贈

- 協力者氏名をWEBサイトに掲載する。

[寄贈先 3団体]

(公財)ジョイセフ/使用済み切手

(公社)日本キリスト教医療協力会/使用済み切手

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター/使用済みプリペイドカード

12. その他

1) 各地域の親切運動支援

- 地域に根差した公益目的事業1を展開している各地域組織に、事業推進のための地方活動助成費を交付するほか、会議を開催し基本方針や新事業を説明したり、表敬訪問・講師派遣等を行う。

・ 地方活動助成費の交付 / 平成30年6月交付予定

総額8,474,000円(平成29年度会費収入の12%)

・ 全国地方本部事務局長会議

と き:平成31年2月15日(金)予定

ところ:東京・ベルサール飯田橋駅前2階会議室

・ 地域組織の各種会合への講師派遣、会議出席等

【広報活動】

1. WEB サイトによる情報発信

- WEB サイト、SNS、動画サイトを通じた運動の情報発信／公式サイト、Facebook 等、YouTube
- 重点活動になっている作文コンクールとはがきキャンペーン関連コンテンツの充実を図る。
- 昨年度閲覧数が急増したあいさつ運動支援「みんなつながろ、トモダチ作戦」については、各地の事例など新しい情報を定期的に掲載することで、何度も閲覧してもらえるよう工夫する。
- WEB サイト、Facebook とともに、6月13日の「小さな親切」の日の閲覧数が非常に多く（テレビ等で紹介されるため）、一般の方に運動を知ってもらう良い機会となるため、WEB サイトの各種ページに誘導できるようなコンテンツを作成する。

2. メディアへの情報提供

- 地域組織の活動を紹介する「活動レポート」、中央本部の情報を提供する「ニュースレター」を5月中に作成してメディアに送付。地域組織イベントの取材等につなげる。
- 地域組織の総会や活動資料の一つとしての活用を広く呼びかける資料としてもらう。

【寄 附】

会員の有無を問わず、広く「小さな親切」運動への理解を深め、「小さな親切」運動及び各種事業から選択した事業への寄附を呼びかける。

【災害見舞金】

大規模な災害に対し、適宜見舞金の募集を行い、被災地に贈る。

各種事業の制作物一覧

作文コンクールポスター (B3)



はがきキャンペーン要項 (A4・両面)



あいさつ運動推進グッズ ポスター2種 (B3) 【左】、のぼり【中央】、たすき【右】



日本列島クリーン大作戦ポスター (B2)



コスモス種子袋【左】とミニヒマワリ種子袋【右】

